

舗装の個別施設計画



平成 30 年 10 月

長野県白馬村



白馬の豊かさとは何か

— 多様であることから交流し学びあい成長する村 —

目次

1. 舗装の現状と課題	1
1.1 管理道路の現状	1
1.2 舗装修繕予算の現状	1
1.3 舗装の現状	2
2. 舗装の維持管理の基本的な考え方	3
2.1 舗装管理の基本方針	3
2.2 管理道路の分類（グループ分け）	3
2.3 管理基準	3
2.4 点検方法・点検頻度	3
2.5 使用目標年数（分類B（損傷の進行が早い道路等）の道路）	3
3. 計画期間	4
3.1 計画期間	4
4. 対策の優先順位（補修計画の方針）	4
5. 舗装の状態、対策内容、実施時期	4
5.1 診断結果	4
5.2 対策内容と実施時期・対策費用	5

1. 舗装の現状と課題

1.1 管理道路の現状

道路区分	管理延長	舗装延長		舗装率
		As 舗装	Co 舗装	
1級村道	23.9Km	22.3Km	0.35Km	94.8%
2級村道	28.1Km	22.5Km	0.25Km	81.0%
その他村道	267.0Km	134.3Km	4.03Km	51.8%
計	319.0Km	179.1Km	4.63Km	57.6%

※Asに簡易舗装は含まれる

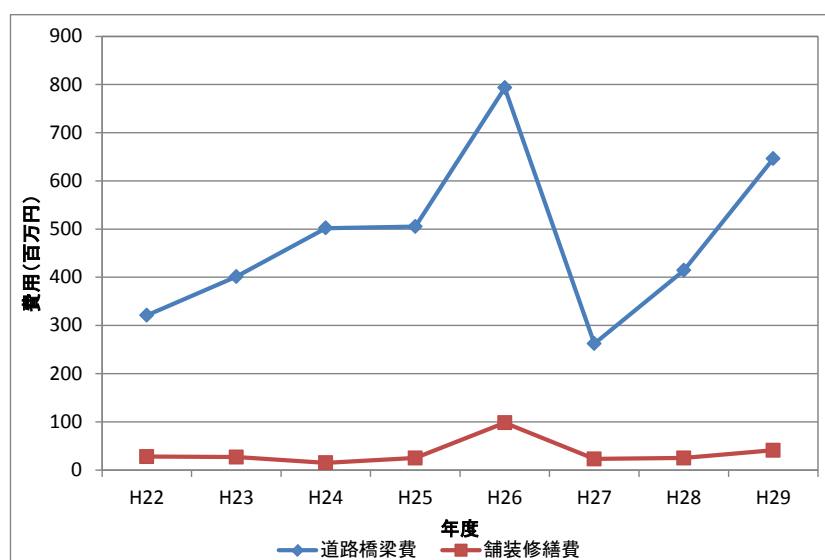
1.2 舗装修繕予算の現状

道路予算のうち舗装修繕予算は、平成26年度に社会資本整備総合交付金事業の導入により一時増加に転じましたが、以降はほぼ平行線を維持している状態です。

●舗装修繕予算

百万円

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
道路橋梁費	321	401	502	505	793	262	414	646
舗装修繕費	28	27	15	25	98	23	25	41



1.3 舗装の現状

1・2級村道及びその他の村道の重要な路線 L=76.0Km のうち L=15.3km については平成24年度から路面性状調査を実施しています。この調査で、全線 L=15.3Km の道路で修繕が必要と判断され調査結果に伴い補助事業による補修工事を平成25年度から実施しています。また、平成30年度には、1・2級村道及びその他村道の中から L=62.8km において路面性状調査を実施しました。この調査結果を基に、平成30年度から10ヶ年分の補修工事計画を策定しました。

なお、この路面性状調査を実施した箇所は、全路線の一部ですが、それ以外の村道についても集落内の生活道路として修繕が必要な個所もあり、その部分については職員によるパトロール等で点検を行い、簡易修繕を行っています。

2. 舗装の維持管理の基本的な考え方

2.1 舗装管理の基本方針

村道舗装の個別施設計画の策定にあたっては、診断結果を踏まえた適切な措置を行うことで道路舗装の長寿命化や舗装の維持修繕費のライフサイクルコスト削減を目指します。

2.2 管理道路の分類(グループ分け)

大型車交通量、路線の重要度を踏まえ分類。

分類	対象道路
分類Bの道路	村道 0105 号線、村道 3149 号線
分類Cの道路	上記以外の1級村道、2級村道
分類Dの道路	上記以外の村道

2.3 管理基準

●機械調査実施路線の場合

MCI	IRI
3.3	8mm/m

●目視調査実施路線の場合

ひび割れ	わだち掘れ量	IRI
40%	40mm	8mm/m

2.4 点検方法・点検頻度

分類	点検方法	点検頻度
分類Bの道路	機械点検	5年に1度
分類Cの道路	機械点検	5年に1度
分類Dの道路	機械点検(分類Dの中で重要な路線)	5年に1度
	巡視の機会を通じた路面状況把握	巡回パトロール

2.5 使用目標年数(分類B(損傷の進行が早い道路等)の道路)

過去の修繕実績等を踏まえ、分類Bの道路は15年とする。

3. 計画期間

3.1 計画期間

当該個別施設計画の計画期間は10年とする。

4. 対策の優先順位(補修計画の方針)

舗装損傷状況、沿道施設（公共施設・教育機関・医療機関）、地域特性（居住地・観光施設）等を考慮し補修の優先順位を決定する。

また、平成30年度から工事を実施している路線がある。これらの路線は最上位路線として扱うこととする。

項目	備考
舗装損傷状況	路面性状調査による診断結果
沿道施設	公共施設・教育機関・医療機関
地域特性	居住地・観光施設

項目	路線名
工事実施中	0105号線の一部
平成30年度に工事計画済	0105,0107,0109,2026,3064,3146号線
平成31年度以降に優先的に工事実施	0103,0216,0217,2268,2269,3149号線

5. 舗装の状態、対策内容、実施時期

5.1 診断結果

平成30年度に点検した62.8kmの診断結果は以下の通り。

なお、診断結果の診断区分は路線ごとに設定しており、機械調査を行った路線ではMC IとIRI、目視調査を行った路線ではひび割れ率、わだち掘れ、IRIの要素ごとの診断結果の内、最も悪い診断結果をその路線の診断結果とした。

分類	診断Ⅰ	診断Ⅱ	診断Ⅲ
分類Bの道路	0.0 Km	2.1 Km	7.1 Km
分類Cの道路	0.0 Km	15.9 Km	5.4 Km
分類Dの道路	0.0 Km	20.1 Km	12.3 Km

診断Ⅰ：健全—損傷レベル小

診断Ⅱ：表層機能保持段階—損傷レベル中

診断Ⅲ：補修段階—損傷レベル大

■ 点検実施箇所・対策必要箇所

